

【授業改善推進プラン、5年国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲の個人差が大きい。 ○読書に意欲的に取り組む児童が多い。 ○読解力に課題があり、文章を正しく読み取ることが難しい児童がいる。 ○漢字や語彙を正しく身に付けていない児童がいる。 ○目的や意図に応じて話す力に課題がある。 ○書くことに対する苦手意識が強い児童がいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての児童が意欲的に取り組むための指導方法を検討していく必要がある。 ○家庭学習も含め、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける機会を確保していく必要がある。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の興味をひく導入の工夫をする。 ○異なるワークシートを用意するなど、個の能力に応じた学習材を検討する。 ○必要感を感じさせ、本気で取り組むことができる授業展開を工夫する。 ○漢字テストを週に3回以上実施する。 ○語彙を増やし、活用させるために、教室や廊下の掲示板等を活用する。 ○漢字を身に付ける、語彙を増やす、読書をするなどの課題を家庭学習で取り組むことができるようにする。 ○「書く力」を育成することが中心の学習においては、スモールステップで取り組ませるようにする。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。 ○文章中の主語、述語、目的語、指示語等を確認する。 ○表現（アウトプット）の場면을大切に指導する。

【授業改善推進プラン、5年社会】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○意欲的に学習に取り組む児童が多い。○事実と考えを分けて資料を読み取ることができる児童が多い。○ノートに自己の考えや調べたことを分かりやすく記述できる児童が多い。○友達と話し合いながら、考えを整理したり、まとめたりすることができる。○都道府県の名称や位置、世界の主な大陸や海洋、国々の名称や位置、日本の国土や気候の特徴等において、正しい知識を獲得できていない児童がいる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○正しい知識を獲得・定着させる必要がある。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○身に付けさせたい知識を獲得・定着させるために授業場面において、繰り返し確認したり、自分の力で調べさせたりする。○第4学年までに身に付けてきた学習方法を大切にしながら授業を展開していく。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。○分からない言葉は辞書を引いて調べさせるようにする。○自分の考えと他者の考えを比較する場面を積極的に取り入れる。

【授業改善推進プラン、5年算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○資質・能力の個人差が非常に大きい。 ○自己の考えを、図や言葉を使って分かりやすく書き表したり、説明したりすることに課題が見られる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導において、個人差にあわせた指導を追究していく必要がある。 ○思考力、判断力、表現力等を高める指導方法を工夫する必要がある。 ○導入場面の工夫などを通して、意欲を高める指導を更に追及する必要がある。 ○既習事項を活用し課題を解決する授業の工夫が不十分である。 ○問題の解き方をわかりやすく子どもが説明できるようにする手立てが不足している。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導におけるグループ編制も含め、より子どもの実態に即した授業を行う。また、大胆に重点化を図り、ねらいを絞った学習過程を心がける。 ○授業の初めの問題を工夫し、子どもの意欲を高める。 ○文章題の内容を図や絵、数直線などに表し、立式につなげるように指導する。 ○問題解決において、既習事項をどのように活用すればよいか見通しをもたせる。 ○個人差に応じるためのワークシートやヒントカード等を用意する。 ○小グループで互いに教え合う活動を積極的に取り入れる。 ○ノートのかき方や発言の仕方などよいものを大いに認め励まし、全体に広げるように指導する。 ○基本的な四則演算や作図等の能力が身に付いていない児童においては、家庭学習で繰り返し取り組むようにさせる。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。 ○文章題指導において、「わかっていること」「聞かれていること」に線を引かせ全体で確認し、文章題の内容を確実に理解させる。また、必要に応じ数直線や線分図、絵などを利用し、文章題理解の一助とする。 ○問題を一人一人が考えた後、解決法を書いたノートを子ども同士で読み合う時間を設け、他の子どもが考えた解決法を読み取る力を伸ばす。 ○問題の解き方を発表する際、初めに子どもの解き方を黒板に記す。それを発表させる前にどのように解決したのか考える時間を設け、読み解く力を伸ばす。

【授業改善推進プラン、5年理科】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○実験や観察に対して、特に意欲的である。○結果を正しく記録することや、結果から考察することに対して意欲が減退する場面が見られる。○正しい知識を獲得できていない児童がいる。○植物や生き物に対する興味が高い児童がいる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○一人一人に実感を伴った理解促す必要がある。○正しい知識を獲得・定着させる必要がある。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○実験や観察を通して、実感を伴った理解を促すことを大切にする。そのために、なるべく少人数で実験・観察できるよう、実験・観察方法を工夫する。○実験器具等の準備を事前に行ったり、デジタル教材を使用して実験の方法を伝えたりするなど学習展開を工夫することで、学習時間を十分確保する。○結果を記録したり、結果から考察したりする場面においては、一人一人が取り組む時間を確保する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。○実験方法や実験結果を、図を用いて表すようにする。

【授業改善推進プラン、5年音楽】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に対する意欲は高く、授業規律も守れている。 ○友だちの顔をうかがったり、自分の立ち位置を気にしたりしている児童がいる。 ○技能を生かしたり、友だちと教えあったりしながら学んでいる。 ○自分の考えや、友だちの意見を取り入れながら、主体的・協働的に学んでいる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して表現できる環境を保ちながら、緊張感をもって取り組む学習についての言葉掛けや指導技術。 ○学習の技能の定着に遅れがある児童に対しての補習にかかる時間が十分ではない。 ○表現活動に一部制約があるため、学習内容に偏りがあり、様々な学習の体験が分ではない。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業のながれで、切り替えポイントを教師が示し、具体的に理解しやすくする。 ○授業ないで習得できない技能は、補助プリントや休み時間を利用して補習を行う。 ○新校舎に移り、屋上などの野外を利用したり、フェイスシールドを使用したりして、飛沫防止対策を工夫し。歌唱やリコーダーなどを使用した表現活動を実施する。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の音色や音の重なりなどの聴き取ったことや、よさや面白さ、美しさなどの感じ取ったことを言語化すると共に、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考え、イメージを文章にする力を育てていく。

【授業改善推進プラン、5年図工】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○技能、発想力に差があるが、意欲的に創造活動をしている。 ○学習の基本的きまりはおおかた守ることができる。 ○作品の完成までにかかる時間に差がある。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○絵では、画面構成の指導に課題が残る。 ○工作では、自分がイメージしたものを具体的に表現できるようにする。 ○安全に楽しく学習できる環境をつくる。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○絵では説明図や型紙を使って、具体的に形の大、中、小の組み合わせのトレーニング等のバランスの指導をする。 ○工作では、同じ課題を簡単なものからスモールステップをふんで、イメージを広げていく。 ○安全に学習するために、道具のだし入れ、配置、置き場、手入れなどを配慮する。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の子どもが間違いや失敗を恐れずに、形・色大きさ、材料の感じ、表現方法など活動や感覚を通して思ったことを表現し、自信を持たせようとする。 ○作品の完成後には自分の作品の紹介、友達の作品について感想などを発表し合う時間を設け、自他の作品の良さや違いを認め合うなど共通理解させる。

【授業改善推進プラン、5年家庭科】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○高い興味・関心をもって取り組んでいる児童が多い。○裁縫においては、技能の定着までに時間がかかる児童がいる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○1学級の人数が多く、裁縫などの内容について、教員一人で指導する難しさがある。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○保護者ボランティアの協力により、個人のつまずきを支援する。 児童同士の学び合いを積極的に行わせ、技能を高められるようにする。 イラストや実演、ICTによる動画等を活用し、視覚的な支援を充実させる。○担任と専科で協力し合い、少人数で学習できるように学習形態を工夫する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。○教科書を使って学習する際に、文章と写真を対応させながら、文章の内容を理解できるようにする。

【授業改善推進プラン、5年体育】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高い意欲・関心をもって取り組んでいる児童が多い。 ○めあてをもって学ぶことができるようになってきている。 ○互いに見合ったり教え合ったりすることに課題が見られる。 ○基本的な技能の定着に課題が見られる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○場所と時間を確保する必要がある。 ○運動が苦手な児童に対する手だてが不足している。 ○基礎的な技能を定着させられるような手だてが不足している。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○校庭で運動できない環境である。なるべく体育館で行う運動領域の指導の充実を図り、運動に親しむ態度や体力の向上を総合的に目指していく。 ○スモールステップで技能を身に付けられる場や時間を設定する。 ○学習カードや資料、学習展開や学習形態を工夫することで、見合ったり教え合ったりすることができるようにしていく。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。 ○保健の教科書を読み解く際に、内容が正しく理解できるよう指導に当たる。 ○技能ポイントなどを記した資料を子どもたちに配布し、イメージをもって運動に取り組むことができるよう図や動きなどを取り入れた資料を工夫して作成する。

【授業改善推進プラン、5年総合的な学習の時間】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○単元の導入場面においては、比較的意欲的であるが、単元を通して粘り強く取り組むことができない児童もいる。○少人数で協力して話し合うことができる児童が多い。○調べたことや考えたことを堂々と表現することに課題が見られる。○課題解決に向けたツールとして、図書資料を活用することができていきている。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○単元を通して児童の意欲を持続させる手だてを検討する必要がある。○思考力や表現力を高めるための手だてを検討する必要がある。○インターネットが活用できない状況であり、年間指導計画の変更をしなくてはならない状況である。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○課題に対して、「自分と身近な問題である」と捉えさせる導入の工夫をしていくとともに、単元全体を児童にとって必要感のある内容にしていく。○必要に応じて思考ツールやICTを活用する。○さまざまな発表方法や発表形態を経験させることを通して、表現力を育成していく。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。○ワークシート等に自己の考えを書く際、主語、述語、目的語を意識して書くことができるようにする。

【授業改善推進プラン、5年外国語】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○積極的に慣れ親しむ児童とそうでない児童とで、二極化が見られる。○身に付けた力を生かして伝え合おうとしている。○外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が身に付いてきている。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○外国語に対して苦手意識をもっている児童に対する手だてが必要である。○教員の指導力の向上を図るとともに、ALTとよりよく連携を図る必要がある。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○苦手な児童も安心して取り組むことができるよう、ヒントカードなどの補助的な教材を用意したり、少人数で取り組む機会を増やしたりする。○ALTと打ち合わせを密にし、役割分担を明確にしたうえでより効果的な授業展開を工夫する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。

【授業改善推進プラン、5年特別の教科 道徳】

児童の状況	○道徳的価値について、理解できている児童が多い。 ○授業の場面で自己の生き方と結び付けている児童が多い。 ○実践しようとする意欲はあるが、その意欲が継続しない児童も多い。
指導についての課題	○授業と実生活を結び付ける手だてが不足している。
授業改善に向けての具体的方策	○後段の展開を工夫することで実生活と結び付けることができるようにする。 ○朝の会や帰りの会などの機会を捉えて、授業と関連付けた指導を行う。
読み解く力の育成	○「読み解く力を育成するための三原則」を意識した授業展開にする。 ○読み物資料の内容を細かく確認するようにする。